



わが家のアイドル

東本郷にお住まいの
國分 敬治さん・暢子さんの

長男 **英治**くん(1歳4か月)

ぼく、えいじです。
 ぼくはまつりがだ~いすき。
 いとこのにいにたちと一緒に行くのが
 楽しみなんだ。
 早くまつりにならないかなあ。

みなさんのお宅のアイドルの写真を募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せください。



下田市はあいさつ運動実践中 あいさつをされる前にしてみよう



下田人の 息づかい

Vol. 8



下田の人たちが昔から大切に
 してきたもの。
 そして、
 これから新たに大切にしてい
 きたいものが
 「下田まち遺産」です。

櫛田蔵

明治中期に建てられたとい
 われる櫛田蔵は、伊豆石とな
 まこ壁の外観を持つ優美で大
 きな蔵です。2階部分には使
 用人のための居住スペースも
 あります。この蔵が現在の所
 有者の手に渡ったのは、昭和
 40年のことです。

倉庫として使われてきたこ
 の蔵は、度重なる災害におい
 てもその難をくぐり抜けてき
 ました。中でも昭和49年に発
 生した伊豆半島沖地震(M6.8)

8)では、店舗兼住宅として
 使用していたレコード店が被
 災したため、しばらく家族で
 蔵に避難していたこともある
 そうです。

昭和50年に下田市から「歴
 史的建造物」の指定を受けま
 すが、大きな変化もなく、そ
 の後も倉庫として使われてき
 ました。そんな櫛田蔵にさわ
 やかな風を運ぶプロジェクト
 がありました。その名も『く
 しだ蔵プロジェクト』です。

これにより、所有者は蔵の
 価値を再認識したと語ります。
 一方、市でも「歴史的建造物」
 の取扱いについて大きな動き
 がありました。平成21年に下
 田市景観計画が創られ、平成
 22年には下田市景観まちづく
 り条例が施行されたことに



よつて、「歴史的建造物」は「登
 録まち遺産」となり、市とし
 て
 もより力強く登録まち遺産の
 所有者を応援することができ
 るようになりました。

そこで市と所有者は、櫛田
 蔵を「生かす」ことについて
 幾度となく話し合いを重ねて
 きました。そして昨年、櫛田夫
 妻によって改修工事が行われ、
 新たな命を吹き込まれました。
 伝統的な石壁・漆喰の内装
 を活かした形で、1月中には
 公開型のギャラリーカフェが
 開かれるとのことでした。

どんなに堅固な建物でも使
 われていなければダメになり
 ます。伝統的な建築物が新し
 い役目を与えられ、やわらか
 い光を放つ、そんな事例を今
 後も増やしていきたいと考え
 ております。

問合せ先 建設課都市住宅係

☎ 22219



「広報しもだ」は再生紙を使用しています

伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう!!

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPRしま
 しょう!! ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

